

リリカラの壁紙は、様々な安全規格の基準に適合しており、安心してご使用いただけます。

### SV規格 Standard Value (壁紙製品標準規格)

快適・健康・安全に配慮した製品を供給することを目的として壁紙工業会によって制定された自主規格です。

### JIS規格(壁紙:JIS A 6921) Japanese Industrial Standards(日本産業規格)

日本の工業製品の品質安定を目的とした産業標準化に基づき制定された国家規格です。

### ホルムアルデヒド等級 F☆☆☆☆

ホルムアルデヒド放散量の0.2mg/L以下は建築基準法のF☆☆☆☆に適合しています。

項目NO.	試験項目			SV規格	JIS規格
				規格値	規格値
1	退色性(号)			4以上	同左
2	摩擦色落ち度(%)	乾燥摩擦色落ち度	縦	4以上	同左
			横	4以上	同左
		湿潤摩擦色落ち度	縦	4以上	同左
3	隠ぺい性(級)			3以上	同左
4	施工性			浮き及びはれがなくてはならない	同左
5	湿潤強度(N/1.5cm)			縦	5.0以上
				横	5.0以上
6	ホルムアルデヒド放散量(mg/L)			0.2以下(※)	同左
7	重金属	砒素(mg/kg)		3以下	—
		鉛(mg/kg)		20以下	—
		カドミウム(mg/kg)		3以下	—
		クロム(mg/kg)		20以下	—
		水銀(mg/kg)		2以下	—
8	塩化ビニルモノマー(mg/kg)			0.1以下	—
9	残留VOC(μg/g)			100以下	—
	TEX芳香族(μg/g)			10以下	—

(使用原材料)

10	安定剤	鉛、カドミウム、有機スズを含有する安定剤は使用しない。	—
11	可塑剤	沸点が300℃以上の難燃性可塑剤を使用する。ただしDBPは使用しない。	—
12	発泡剤	フルオロカーボン類は使用しない。	—
13	溶剤	TEX(トルエン、キシレン、エチルベンゼン)は使用しない。	—

- 上表は、各規格の規定内容を簡略化して一覧にしたものです。項目1~6は、両規格とも同じです。SV規格は、JISの基本品質に、より安全性を考慮して重金属やVOCなどの規定が加えられています。
- JIS規格・SV規格の内容は、社会情勢の変化によって随時改定されます。
- SV規格の詳細については、壁紙工業会ホームページ(<http://www.svkikaku.gr.jp>)をご参照ください。

### 商品選択上のご注意

- 製造ロットの違いにより、見本やサンプル帳と実際の商品が若干異なる場合があります。なお、施工例写真は、照明の影響や印刷の都合上、実物と多少違って見える場合がありますので、ご了承ください。
- 改良その他の事情により、予告なく仕様変更を行うことがあります。また、生産中止などにより供給不能となる場合があります。
- ビニル壁紙は、リピート表示のない商品でも基本的にある単位のある単位の間隔が同じ柄の繰り返しで出ています。このため、見る角度や光の当たり方によって微妙な凹凸の繰り返しも目立ちやすくなります。これは製法上の特性であり、現在の技術では完全に防ぐことはできません。あらかじめご了承ください。

- 商品はタテ置きで保管してください。ヨコ積みや井桁積みは置き跡がつきやすく、光沢差やエンボスつぶれの原因となります。



タテ置き



ヨコ積み



井桁積み

- 下地は平滑に仕上げてください。また、ネジ・クギ類は突起を完全に沈め、サビ止めをしてください。
- 貼り替え時、下地に残った裏打紙(残紙)は剥がしてから施工してください。残紙が浮いたまま施工すると目障りなどの原因となります。
- ベンキ・コンクリート・モルタル・木質系下地の場合は、それぞれ専用のシーラーで必ず下地処理をしてください。特にベニヤなどの木質系下地に直接施工した場合、時間がたつとシミや変色の原因となります。シーラーは接着不良や変色を防ぎ、リフォーム時に剥がれやすくなります。
- 壁紙は必ず有効巾でご使用ください。重ねしろは有効巾に含まれません。有効巾を超えた使用は、左右色違いの原因となります。
- ジョイント位置は、端部同士で施工してください。両端部と中央部では、色差が生じる場合があります。また、窓の上下など一部だけを横貼りすると、色違いが生じますので、必ず同じ方向で貼ってください。
- 表面の凹凸が少ない商品はジョイントが比較的目立ちやすい意匠特性があります。突き付け施工でジョイントが目立ちやすい場合は、重ね断ち施工をおすすめします。
- 三巾ほど施工した時点で問題のないことを確認してください。明らかに製品に欠陥があると判断された場合には、ただちに作業を中断し当社までご連絡頂けますようお願い申し上げます。三巾以降相当量の作業を進行了場合、施工費賠償の請求、商品の返品等は原則としてお受けいたしかねますのでご了承ください。

### 使用上のご注意

- 入居後一週間程度は十分に換気を行なってください。施工時の臭いが残っている場合があります。
- カーテンやブラインドを活用し、直射日光を避けるよう心がけてください。直射日光や熱風が長時間あたると、変色しやすくなります。
- 粘着テープ(セロハンテープやガムテープなど)を壁紙に貼らないでください。テープの粘着剤が壁紙に移行し、変色や汚れの原因となります。また、粘着テープを剥がす時に壁紙が破損することがあります。
- 薬品や化粧品などを付着させないでください。壁紙が変色することがあります。
- 家具を壁面に密着させないでください。家具の塗料に含まれる色素やベニヤの色素により、壁紙が変色することがあります。変色だけでなく結露やカビの予防にもなります。
- 結露や過度の湿気は、シミ・剥がれ・カビの原因となりますので、室内の換気や湿度調整を心がけてください。
- 室内空気の汚れ(ホコリ、タバコ、キッチンからの油煙など)は、壁紙を短期間で黄変させてしまいます。できるだけ室内の換気を心がけてください。
- ホコリは、時々ハタキをかけた後電気掃除機などで吸い取ってください。ホコリや汚れを放置しておきますと、湿気や油分を吸って取れにくくなります。
- 飲食物や調味料などの水汚れは、直ちにたくわったスポンジやタオルで汚れを吸い取るように拭き取ってください。落ちにくい場合は中性洗剤をご使用ください。洗剤の拭き残しは変色の原因となります。必ず水かぬるま湯で洗剤が残らないよう拭き取ってください。
- 時間の経過と共に部分的な剥がれが生じる場合があります。剥がれが広がる前に下地の汚れを取り去り、木工用水性接着剤などを壁紙裏面に塗布し、十分に圧着してください。
- 日常的にメンテナンスを行ないながら、5~10年を目安に貼り替えをおすすめします。

ビニル壁紙のお手入れ方法の詳細はこちら >>

<https://www.lilycolor.co.jp/interior/maintenance/vinyl/index.html>

